【現状からうかがう成果】

・相手意識が働き、見やすさを考えたり、文を端的にしたりしようとする姿がうかがえる。

・児童個々の進度（理解度）に合わせて取り組むことができる。

・端末で具体的操作を行うことは、準備や片付けの時間の短縮につながった。また、ブロックや紙に比べ、落とすなどのことがなく、注意がそれにくい。

・児童と一緒に「とにかくやってみる！」を続けたら、端末に慣れ、「大変…。」が「楽しい！」へ変わった.

【現状からうかがう課題】

・協働編集するなど学び合いのツールとして、児童に「活用」させておらず、協働学習につなげることが不十分。

・様々なアプリケーションを使用することはできたが、児童が自分の考えを記録することが不足している。

・低学年は、「操作」「説明」という時間を、多く設定する必要性が高く、授業で深めたい部分を削ることがあったり、最後までいけないことがあったりした。

・様々な教科で端末を用いた授業に取り組んだが、端末を使う必要があるのか、従来通りワークシートでもよいのではないかという場面がある。「効果がある」という使い方を、更に発信していく。

能登町立宇出津小学校

927-0433　石川県鳳珠郡能登町字宇出津ム字１番地

TEL　（０７６８）６２―００３７

FAX　（０７６８）６２－０９７５

Gmail（代表）

es-ushi-daihyo@noto.ed.jp

校内研修推進リーダー　延田　晃樹　・　髙山　隆史

GIGA（Global and Innovation Gateway for All）

校内研修推進リーダー研修

「モデル校としての実践は、どうだった？」

～今後の解決のヒントになると HAPPY！～

全ての人にグローバルで革新的な入り口を！

【取組事例の紹介】

第１学年算数科 「あわせていくつ　ふえるといくつ」

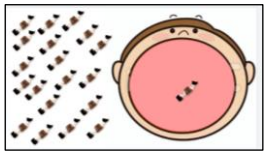
・ジャムボードを使い文章問題を作成した。グループ活動をした後、ワークシートで問題作りに取り組んだ。ジャムボードを用いると、言葉を選び、移動させる作業が早く進み、理解を高めた上で、書かせると、ねらいを達成する児童が増えた。

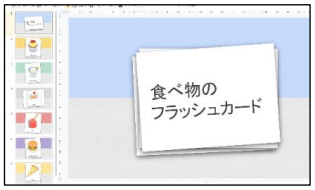
第２学年国語科 「かんさつ名人になろう」

・中庭で見つけた植物をカメラ機能で撮り・保存した。外に行って触ったり、匂いを嗅いだりして観察することができない雨の日や猛暑の日には教室で色合いや形を観察することができた。

第３学年外国語活動 「How many?」

・クイズ「口の中に入れたチョコレートがいくつ？」をジャムボードを用いてペアで取り組んだ。児童が繰り返し動かせ、”How many?”“（Ten）chocolates”の表現に慣れ親しむことができた。また、スライドで食べ物のデジタルフラッシュカードを作成し、英語表現を個々で慣れ親しむことへつなげた。





【一人一台端末を用いた授業等】
国語科・算数科・理科・社会科・外国語科音楽科・体育科・生活科・家庭科・特別の教科道徳・外国語活動・総合的な学習の時間・学級活動・朝の会・帰りの会・児童集会

【使用したアプリケーションと効果的な機能】
カメラ（録画・撮影・見直し・拡大して観察）
ジャムボード（分類・修正・整理）
スライド（共同編集・フラッシュカード・振り返り）
ドキュメント（レポート・音声、文字入力）
スプレッドシート（グラフ化・予定のデジタル化）
フォーム（アンケート・振り返り）
デジタル教科書（視聴・操作）
学習ソフト：ｅライブラリー（理解の定着）

「I の意味」・・・私の「I」、相手の「I」、愛情の「I」
「C の意味」・・・「C」hildren＆「C」reative
「T の意味」・・・「T」eacher＆「T」echnique

～研修の学びや日常的 OJT と授業実践を Connect！～

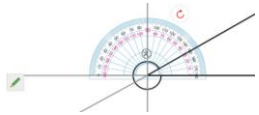
１学期末　学習アンケート結果（端末使用について）

6．クロームブックを使って学ぶことは楽しいですか。	90.2	7.4	1.8	0.6
7．クロームブックを使って学ぶことで勉強が分かるようになりましたか。	67.5	28.2	3.1	1.2
8．クロームブックを使って、授業の中で先生が言う操作ができますか。	68.7	24.5	5.5	1.2

端末を使った学習への意欲の高さがうかがえる。今後は、文房具と同じ学習ツールとして当たり前の存在に！

【取組事例の紹介】

第４学年算数科 「角の大きさ」



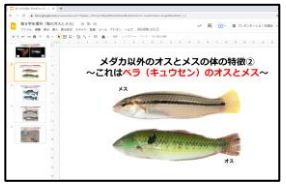
・デジタル教科書を活用し、180°より大きい角度の測り方を考えさせた。補助線を正しく引くことができ、学習の見通しが持ちやすくなった。また、タブレットモードにし、自分の考えを他者に説明できた。しかし、分度器自体を拡大できず、目盛りが細かく読みづらい。端末画面に直接分度器をあてて、角度を測る姿も見られた。

第５学年学級活動

・運動会練習の振り返りをドキュメントに入力した。毎回の練習にめあてをもって取り組み、振り返ることができた。日々の振り返りが積み重なっていくことで、自分の成長を感じることができた。

第５学年理科 「魚のたんじょう」（教科担任）

・メダカ以外の魚も、雌雄の区別があるかを問いかけた。スライド作成しておくことで、検索する時間が省略でき、スライドのズーム機能を用いて雌雄を比較し理解を深めることができた。



第６学年道徳「愛華さんからのメッセージ」etc

・考えを端的にまとめ、付箋機能でジャムボードに貼った。児童の考えが一目でわかり意図的指名をする際に役立った。振り返りを書く際には、友達の考えを取り入れて書いていた。